郡市区等医師会 御中

大阪府医師会(公印省略)

「感染症発生動向調査情報(第50週)」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供 申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】

大阪府医師会·地域医療 1 課 TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2021年第50週(12月13日~12月19日)

今週のコメント

~感染性胃腸炎~ 手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 さらに増加し

第50週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は 2,685例であり、前週に比べて微増であった。報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ 10.70、1.38、0.44、0.25、0.24である。

感染性胃腸炎は前週比5%増の2,107例で、大阪市北部14.43、大阪市南部14.22、南河内14.06、北河内13.81、 堺市11.68であった。

手足口病は30%減の272例で、南河内2.88、泉州2.60、中河内・堺市2.00である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は18%増の87例で、中河内1.25、大阪市南部0.89、南河内0.81であった。 ヘルパンギーナは24%減の47例で、大阪市北部0.43、泉州0.40、堺市0.37である。

今週の感染性胃腸炎の年齢分布をみると6歳未満が77%を占めた。

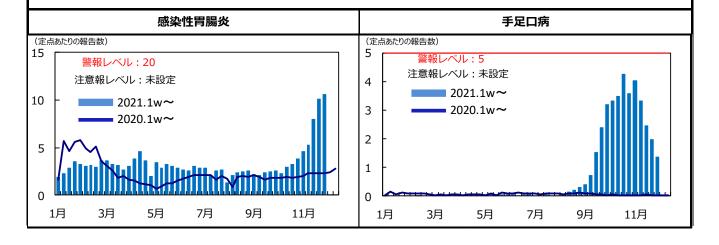


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2021年第50週12月13日~12月19日)

第50週 の順位	第49週 の順位	感染症	2021年 第50週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2020年 第50週の 定点あたり 報告数	2021年第50週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	10.70	5%増	2.28	1歳_18%
2	2	手足口病	1.38	30%減	0.02	1歳_46%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	18%増	0.72	2歳_16%
4	5	突発性発しん	0.25	2%増	0.38	1歳_62%
5	4	ヘルパンギーナ	0.24	24%減	0.11	1歳_43%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	67%減	0.01	6歳(1例)_100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第50週のコメント

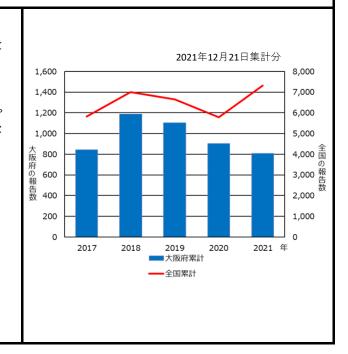
〜梅毒〜 大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期より少ないが、 全国では2020年4,412例、2021年7,326例と増加している

全数把握感染症

梅毒

国内の梅毒の報告数は、2010年より増加傾向にあったが、 大阪府における2020年の報告数は、3年ぶりに、1,000例を 下回った。

梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。



<u>感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)</u> 梅毒とは(国立感染症研究所)

表 2. 大阪府全数報告数(2021年 第50週12月13日~12月19日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数府内累積
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1				181
4類感染症	E型肝炎	1				1					11
4 規念未定	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	131
	アメーバ赤痢	2			1	1					48
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1							175
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	37
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	1								1	100
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1							18
	梅毒	10		3						7	807
	播種性クリプトコックス症	1		1							8
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	89					2020	年1月	以降累	累計 2	203,372
結核	結核 新登録患者数:79名						(内)	肺•喀	痰塗抹	陽性	28名)
(2021年10月分)		(府	内累积	責報告	数 92	25名、	内肺	•喀痰	塗抹	場性(360名)

(2021年12月21日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。

(ブロ	ック別)													(年齢	別)								第50词	周 20	21年1	2月13日	∃~20)21年1	2月19日
	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市 北部	09 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計	年齢区分	6 ヶ 月	12 ヶ 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳 か	15 歳 か	20 歳	
	小児科		16	26	20	16	19	20	14	10	15	18	197		未	未										6	5	以	
	定点数 眼 科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52		満	満										14	19	上	合計
	疾病名 ダインフルエンサ **	2 35	24	41	31	24	2 29	33	20	4 15	22	27	16 301	疾病名												歳	歳		
	RSウイルス感染症	1	0	20	1	4	0	2	3	1	8	4	44	R	8	9	11	6	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	44
	咽頭結膜熱	2	1	12	3	8	2	8	0	2	2	4	44	咽	1	5	14	14	5	2	1	1	0	1	0	0	0	0	44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	3	17	25	13	2	6	1	3	0	16	87	А	0	1	2	14	13	11	10	5	7	10	6	4	2	2	87
小 児 科	感染性胃腸炎	199	147	359	210	225	222	143	202	83	61	256	2107	感	16	110	383	382	316	240	176	124	67	45	38	96	22	92	2107
定点	水痘	3	0	4	7	4	0	3	1	0	0	0	22	水	0	1	0	0	1	4	2	3	2	2	1	3	0	3	22
把握	手足口病	24	25	9	40	46	38	52	1	5	8	24	272	手	3	14	126	72	33	16	1	3	0	0	0	1	0	3	272
疾患	伝染性紅斑	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	伝	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	突発性発しん	7	7	7	5	5	6	3	3	1	1	5	50	突	1	15	31	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	50
	ヘルパンギーナ	6	3	4	4	5	7	8	6	2	0	2	47	^	0	3	20	15	6	1	0	0	0	0	0	0	0	2	47
	流行性耳下腺炎	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5	流	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	5
把眼握科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疾定患点	流行性角結膜炎	0	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	5	流	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	5
	合 計	243	187	433	298	313	278	225	219	97	81	311	2685	合計	29	158	588	504	383	277	191	137	79	59	46	104	25	105	2685
基	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幹定	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
点 把	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	₹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
握疾患	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0		0			0	ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
, <u>(</u>)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0		0			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
/定	インフルエンザ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(ブロック別) 第50週 2021年12月13日~2021年12月19日

()	ック別)															5 50	~	· + + -/ J	<u> </u>	J21#12F	J + 7 III
	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08 大阪市	09 大阪市	10 大阪市	11 大阪市	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位5疾患
	78774	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	北部	西部	東部	南部	J CHXH3 E I) (MX II) EI	2) [1] [1]	*/\\	וםנויואיניםו	프기기카	ופנויניגוי		順位
	定点数 小 児 科	23	16	26	20	16	19	20	14	10	15	18	84	57	19	12	8	9	8	197	
	眼 科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基幹		2	2	2	1	2	1		4			7	4	2	1	2	0	0	16	
疾病	名 インフルエンザ	35	24	41	31	24	29	33	20	15	22	27	131	84	29	18	13	13	13	301	
	RSウイルス感染症	▽ 1	▽ 0	△ 20	△ 1	▽ 4	0	△ 2	▽ 3	1	△ 8	△ 4	16	▲ 16	0	△ 1	▽ 0	0	▲ 7	△ 44	
	咽頭結膜熱	A 2	1	△ 12	3	A 8	△ 2	8	▽ 0	2	▽ 2	4 4	△ 26	▽ 8	△ 2	▼ 2	0	1	▽ 0	44	
小	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▽ 1	▽ 3	▲ 17	△ 25	1 3	△ 2	6	▽ 1	A 3	0	16	△ 30	20	△ 2	△ 24	△ 1	0	△ 5	87	3
児科	感染性胃腸炎	△ 199	147	359	210	225	222	143	202	▽ 83	▽ 61	△ 256	767	602	222	106	△ 40	△ 104	102	2107	1
定点	水痘	3	▼ 0	4	△ 7	△ 4	▼ 0	△ 3	▽ 1	0	0	0	△ 10	▼ 1	▼ 0	△ 6	0	△ 2	▽ 0	△ 22	
把握	手足口病	△ 24	▽ 25	▼ 9	40	46	38	▽ 52	▼ 1	5	△ 8	▽ 24	▽ 120	▼ 38	38	19	▼ 8	△ 12	▼ 4	▽ 272	2
疾患	伝染性紅斑	0	0	0	0	△ 1	0	0	△ 1	0	0	0	△ 1	△ 1	0	0	0	0	0	△ 2	
	突発性発しん	▲ 7	△ 7	▽ 7	▽ 5	△ 5	△ 6	▼ 3	▽ 3	△ 1	1	5	15	10	△ 6	▽ 4	△ 3	▲ 6	▼ 3	50	4
	ヘルパンギーナ	△ 6	▽ 3	△ 4	△ 4	▽ 5	▽ 7	▼ 8	6	▼ 2	▼ 0	2	23	▼ 10	▽ 7	△ 4	▽ 1	1	▽ 0	▼ 47	5
	流行性耳下腺炎	0	△ 1	▼ 1	△ 1	▽ 1	▽ 0	▽ 0	△ 1	0	0	▽ 0	▽ 2	1	▽ 0	△ 1	0	0	△ 1	⊽ 5	
把眼握科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疾定患点	流行性角結膜炎	▼ 0	0	▽ 0	△ 2	△ 1	1	0	0	0	1	▽ 0	△ 1	▽ 1	1	△ 2	0	▼ 0	▽ 0	5	
	合 計	△ 243	187	433	298	313	278	225	219	▽ 97	▽ 81	311	1011	708	278	169	△ 53	△ 126	122	2685	
基	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
幹定	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	▽ 0	0	0		0			▽ 0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	
点 把	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
握疾	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
患	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0	0	
/定	インフルエンザ	0	0	▽ 0	0	0	△ 1	▽ 0	0	▽ 0	0	0	▽ 0	▽ 0	△ 1	0	0	0	0	▽ 1	

全国感染症集計 2021年49週(12月6日~12月12日)

工术ラ出血熱 C クリミア・コンゴ出血熱 C 京そう C 雨米出血熱 C 京そう C 雨米出血熱 C 京そう C 雨米出血熱 C 京そう C 不入ト C で スト グールブルグ病 C で カボ型インフルエンザ (A/H1N1) C 急性灰白髄炎 E を ジンフ・リア 重症急性呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウ イルス原SARSコロナウイルスをあるものに限る。) C 中東呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスをあるものに限る。) C 中東呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウイルス 属 MERSコロナウイルスをあるものに限る。) C の	_全国感染症集計 2021年49;	<u> </u>
クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱 ベスト マールブルグ病 ラッサ熱 新型インルエンザ (A/H1N1) 急性灰白髄炎 結核 232 シフテリア 重症急性呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウ イルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) 中東呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスであるものに限る。) 島インフルエンザ (H5N1) 島インフルエンザ (H5N1) に関管出血性大腸菌感染症 医アフス バラチフス に型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストカイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストカイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) の間帰熱 なり上病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 カロ帰熱 こ ロマシシオイデス症 サル頂 シカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症性出血熱 こ ロアシジオイデス症 サルカイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症性出血熱 こ ロアシアがアア熱 こ フルウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症のフ脳炎 ター媒介・脳炎 反射 カールス病 ランがコルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (カールボウ イルス属。 C な カールスの	1~4類(全数把握)	報告数
クリミア・コンゴ出血熱 痘そう 南米出血熱 ベスト マールブルグ病 ラッサ熱 新型インルエンザ (A/H1N1) 急性灰白髄炎 結核 232 シフテリア 重症急性呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウ イルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) 中東呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスであるものに限る。) 島インフルエンザ (H5N1) 島インフルエンザ (H5N1) に関管出血性大腸菌感染症 医アフス バラチフス に型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストカイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ウエストカイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) の間帰熱 なり上病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 オウム病 カロ帰熱 こ ロマシシオイデス症 サル頂 シカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症性出血熱 こ ロアシジオイデス症 サルカイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症性出血熱 こ ロアシアがアア熱 こ フルウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症のフ脳炎 ター媒介・脳炎 反射 カールス病 ランがコルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (カールボウ イルス属。 C な カールスの	エボラ出血熱	0
度そう 南米出血熱		
南米出血熱		
ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 の新型インフルエンザ(A/H1N1) 急性灰白髄炎 結核 232 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群(病原体がヘータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) 中東呼吸器症候群(病原体がヘータコロナウイルス 属所とRSコロナウイルスであるものに限る。) 属人フフルエンザ(H5N1) このには、		
マールブルグ病 ラッサ熱 新型インフルエンザ (A/H1N1) 急性灰白髄炎 結核 232 差核 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウ パス属SARSコロナウイルズあるものに限る。) 鳥インフルエンザ (H5N1) 島インフルエンザ (H7N9) コレラ 細菌性赤痢 の間管出血性大腸菌感染症 医型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) ム型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) ム型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) ム型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) な キナリスル症 黄熱 オウム病 オムスク出血熱 回帰熱 キャサスル森林病 の (Q熱 狂犬病	日本山皿烈	U
マールブルグ病 ラッサ熱 新型インフルエンザ (A/H1N1) 急性灰白髄炎 結核 232 差核 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群 (病原体がペータコロナウ パス属SARSコロナウイルズあるものに限る。) 鳥インフルエンザ (H5N1) 島インフルエンザ (H7N9) コレラ 細菌性赤痢 の間管出血性大腸菌感染症 医型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) ム型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) ム型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) ム型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) な キナリスル症 黄熱 オウム病 オムスク出血熱 回帰熱 キャサスル森林病 の (Q熱 狂犬病	ペスト	0
デッサ熱 新型インルエンザ (A/H1N1)		J
新型インフルエンザ(A/H1N1) 急性灰白髄炎 結核 232 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群(病原体がヘータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) 中東呼吸器症候群(病原体がヘータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスであるものに限る。) 属人ンフルエンザ(H5N1) 高インフルエンザ(H7N9) コレラ 細菌性赤痢 陽管出血性大腸菌感染症 腸チフス にラチフス E型肝炎 ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ローストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 ローストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) の型肝炎 エキノコックス症 黄熱 オムスク出血熱 ロー帰熱 キャサヌル森林病 の熱 など大病 コクシジオイデス症 サル症 シカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群(病原体がレボウイルス属SFTSウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群(病原体がレボウイルス属、医で、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、	マールブルグ病	0
急性灰白髄炎	ラッサ熱	0
急性灰白髄炎	新型インフルエンザ(A/H1N1)	0
結核 232		0
 ジフテリア 重症急性呼吸器症候群(病原体がペータコロナウイルスであるものに限る。) 中東呼吸器症候群(病原体がペータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスであるものに限る。) 鳥インフルエンザ (H5N1) 島インフルエンザ (H7N9) コレラ 細菌性赤痢 陽管出血性大腸菌感染症 ラエストナイル熱(ウェストナイル脳炎を含む。) 石型肝炎 エキノコックス症 黄熱 オウム病 オウム病 オウム病 カイクリルスをあるものに限る。) の本型肝炎 ウェストナイル熱(ウェストナイル脳炎を含む。) 石型肝炎 エキノコックス症 黄熱 カウンスク出血熱 回帰熱 キャサヌル森林病 Q熱 狂犬犬病 コクシジオイデス症 サル痘 シカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス感染症 内は及療が上出血熱 四部ウマ脳炎 グニ媒介脳炎 原産候性出血熱 の西部ウマ脳炎 グニアンが主病 ランが主病 ランが主病 ランが上ア熱 コが虫病 アング熱 ロー本紅斑熱 日本紅斑熱 日本紅斑熱 日本経炎 ロートルス原染症 ロートルス原染症 ロートルス原染症 ロートルス病 ロートルス病 ロートリンス病 ロートルス病 ロートルス病 ロートルス病 ロートルス病 ロートルチフス ボッリヌス症 マラリア 野兔病 ライム病 リッサウイルス感染症 ロートルスのシャルスのシャル ロートルスのシャルスのシャル ロートルスのシャル <		
重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスであるものに限る。) 属インフルエンザ (H5N1)		_
イルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス		U
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス 属MERSコロナウイルスであるものに限る。)		0
MERSコロナウイルスであるものに限る。) 島インフルエンザ (H5N1) C		
属MERSJDナウイルスであるものに限る。) 島インフルエンザ (H5N1) 日	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス	0
島インフルエンザ (H7N9) C コレラ C 棚管性赤痢 C 腸管出血性大腸菌感染症 55 腸チフス C パラチフス C 巨型肝炎 C ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) C A型肝炎 C エキノコックス症 C 黄熱 C オウム病 C オムスク出血熱 C 回帰熱 キャサヌル森林病 Q熱 C 狂犬病 C カラシデオイデス症 C サル痘 C ジカウイルス感染症 C 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルズの C アニ媒介脳炎 C グニ媒介脳炎 C 原産候性出血熱 C フングニア熱 C フンが虫病 52 東部ウマ脳炎 C トスプラルスス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C スペスエラウマルス感染症 C アラリア C 野兔病 C ブルセラ症 C スペンドラウイルス感染症 C <t< td=""><td>属MERSコロナウイルスであるものに限る。)</td><td></td></t<>	属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	
島インフルエンザ (H7N9) C コレラ C 棚管性赤痢 C 腸管出血性大腸菌感染症 55 腸チフス C パラチフス C 巨型肝炎 C ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) C A型肝炎 C エキノコックス症 C 黄熱 C オウム病 C オムスク出血熱 C 回帰熱 キャサヌル森林病 Q熱 C 狂犬病 C カラシデオイデス症 C サル痘 C ジカウイルス感染症 C 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルズの C アニ媒介脳炎 C グニ媒介脳炎 C 原産候性出血熱 C フングニア熱 C フンが虫病 52 東部ウマ脳炎 C トスプラルスス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C スペスエラウマルス感染症 C アラリア C 野兔病 C ブルセラ症 C スペンドラウイルス感染症 C <t< td=""><td>鳥インフルエンザ (H5N1)</td><td>0</td></t<>	鳥インフルエンザ (H5N1)	0
コレラ 細菌性赤痢		
細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス パラチフス ピュアス ピュアス ピュアン パラチフス ピュアン ピュアン の		
腸管出血性大腸菌感染症 55 腸チフス C パラチフス C ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A A型肝炎 C エキノコックス症 C 黄熱 C オウム病 C オレス月出血熱 C 回帰熱 E キャサヌル森林病 C Q熱 C 狂犬病 C コクシジオイデス症 C サル痘 C シカノルス感染症 C 電症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ C イルス属SFTSウイルス感染症 C 野症候性出血熱 C 四部ウマ脳炎 C デング系 C アングニア熱 C コンが上の方に C 東部ウマ脳炎 C ルンタウイルス感染症 C カイルス病 C 場直 C カイルス病 C カイルチフス C スーメーラウマ脳炎 C スーメーシス C スーメーシス C <td< td=""><td></td><td></td></td<>		
腸チフス パラチフス ピ型肝炎 7 ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) C A型肝炎 C エキノコックス症 黄熱 オウム病 C オムスク出血熱 C 回帰熱 C キャザヌル森林病 C Q熱 C 狂犬病 C コクシジオイデス症 C サル痘 ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス慮を住出の熱) C 西部ウマ脳炎 C グニ媒介脳炎 C 炭塩 C 野部ウマ脳炎 C 島インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C ロー本脳炎 C ハンタウイルス感染症 C ロー本脳炎 C ハンタウイルス感染症 C ローンスエステウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C アラリア 野兎病 ライム病 C リッサウイルス感染症 C リッサウイルス感染症 C フトアス C アラリア C 野兔病 C フトアス C <td></td> <td></td>		
パラチフス E型肝炎 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) A型肝炎 エキノコックス症 黄熱 オウム病 オウム病 オムスク出血熱 回帰熱 キャサヌル森林病 Q熱 狂犬病 コクシジオイデス症 サル痘 ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) 腎症候性出血熱 西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 デング無 東部ウマ脳炎 ターは、		
E型肝炎 7 ウエストナイル熱 (ウェストナイル脳炎を含む。) C A型肝炎 C エキノコックス症 C 黄熱 C オウム病 A 人スク出血熱 回帰熱 C キャサヌル森林病 C Q熱 狂犬病 エ大病 C カンジオイデス症 C サル痘 C ブカウルス感染症 C 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス感染症 C 内・アングニア熱 C コンが虫病 C 東部ウマ脳炎 C 房インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C ロー本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C ロー本脳炎 C ハンタウイルス麻 C カース アラリア C 野兔病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C カース アラウイルス感染症 C カース アラウイルス感染症 C カース アラウイルス感染症 C カース アラウイルス 原発症 C カース アラウ		0
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。) C A型肝炎 C エキノコックス症 D 黄熱 C オウス病 C オムスク出血熱 C 回帰熱 C キャサヌル森林病 C Q熱 C 狂犬病 C コクシジオイデス症 C サル痘 ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) C 腎症候性出血熱 C 西部ウマ脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つか・取済 C デング熱 C ウンが上病 C ラングルス病 C ランクルスを除止 C ラウイルス感染症 C ロー本脳炎 C ハンタウイルス底染症 C アラリア C 野足病 C ブルセラ症 C リフトバレー熱 C リフトバレー熱 C リフトバレー会 C カイム病 D リフトスピッカス C カイス C		0
A型肝炎 C エキノコックス症 C 黄熱 C オウム病 C オンスク出血熱 C 回帰熱 C キャサヌル森林病 C Q熱 C 狂犬病 C コクシジオイデス症 C サル痘 ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) C 腎症候性出血熱 C 西部ウマ脳炎 C ダニ媒介脳炎 C 炭疽 C アングニア熱 C つか・虫病 C デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 原インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C エートンフルストンサルス感染症 C 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ベンドラウイルス感染症 C アラリア C 野毛病 C ブルス病 D リントバレー熱 C レプトスピーカスラ症 C レプトスピーカスラ症 C	E型肝炎	7
A型肝炎 C エキノコックス症 C 黄熱 C オウム病 C オンスク出血熱 C 回帰熱 C キャサヌル森林病 C Q熱 C 狂犬病 C コクシジオイデス症 C サル痘 ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) C 腎症候性出血熱 C 西部ウマ脳炎 C ダニ媒介脳炎 C 炭疽 C アングニア熱 C つか・虫病 C デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 原インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C エートンフルストンサルス感染症 C 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ベンドラウイルス感染症 C アラリア C 野毛病 C ブルス病 D リントバレー熱 C レプトスピーカスラ症 C レプトスピーカスラ症 C	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
エキノコックス症 0 黄熱 0 オウム病 0 オムスク出血熱 0 回帰熱 0 キャサヌル森林病 0 Q熱 0 狂犬病 0 コクシジオイデス症 0 サル痘 0 ジカウイルス感染症 0 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属系 F T Sウイルスであるものに限る。) 0 腎症候性出血熱 0 西部ウマ脳炎 0 ブルグニア熱 0 つかり虫病 52 デング熱 0 東部ウマ脳炎 0 トーンフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) 0 エパウイルス感染症 0 日本紅斑熱 0 日本紅斑熱 0 日本紅斑熱 0 日本紅斑熱 0 Bウイルス病 0 場直 0 ブルセラ症 0 ベネズエラウマ脳炎 0 ベンドラウイルス感染症 0 アリア 0 野兎病 0 ライム病 0 リンドラウイルス感染症 0 リンドラウイルス感染症 0 <		0
黄熱 0 オウム病 0 オムスク出血熱 0 回帰熱 0 キャサヌル森林病 0 Q熱 0 狂犬病 0 カシジオイデス症 0 サル痘 0 ジカウイルス感染症 0 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属S F T S ウイルスであるものに限る。) 0 腎症候性出血熱 0 西部ウマ脳炎 0 炭疽 0 チクングニア熱 0 つが虫病 52 デング熱 0 東市ウマ脳炎 0 島インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) 0 ニパウイルス感染症 0 ロー本紅斑熱 0 日本脳炎 0 ハンタウイルス肺症候群 0 Bウイルス病 0 鼻疽 0 ブルセラ症 0 ベネズエラウイルス感染症 0 ワリアトバレー熱 0 野鹿病 0 ライム病 0 リフトス病 0 リフトス病 0		
オウム病		
オムスク出血熱 0 回帰熱 0 キャサヌル森林病 0 Q熱 0 狂犬病 0 コクシジオイデス症 0 サル痘 0 ジカウイルス感染症 0 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属S F T S ウイルスであるものに限る。) 0 腎症候性出血熱 0 西部ウマ脳炎 0 ゲニ媒介脳炎 0 炭疽 0 チクングニア熱 0 つつが虫病 52 デング熱 0 東部ウマ脳炎 0 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) 0 ニパウイルス感染症 0 日本紅斑熱 1 日本脳炎 0 ハンタウイルス肺症候群 0 Bウイルス病 0 鼻疽 0 ブルセラ症 0 ベネズエラウマ脳炎 0 ベンアラウイルス感染症 0 アラリア 0 野兎病 0 ライム病 0 リッサウイルス感染症 0 リアトバレー熱 0 リアトバレー熱 0 リアトバレー熱 0 <td></td> <td></td>		
回帰熱 C キャサヌル森林病 C Q熱 C 狂犬病 C コクシジオイデス症 C サル痘 C ジカウイルス感染症 C 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属S F T Sウイルスであるものに限る。) C 腎症候性出血熱 C 西部ウマ脳炎 C ダニ媒介脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つかは病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C 日本脳炎 C ハンタウイルス感染症 C Bウイルス病 C 厚加 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C マラリア 野兎病 ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		0
キャサヌル森林病 C Q熱 C 狂犬病 C コクシジオイデス症 C サル痘 C ジカウイルス感染症 C 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFT Sウイルスであるものに限る。) C 腎症候性出血熱 C 西部ウマ脳炎 C グニ媒介脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C アラリア 野兎病 ライム病 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
Q熱 C 五クシジオイデス症 C サル痘 C ジカウイルス感染症 E 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) C 腎症候性出血熱 C 西部ウマ脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C マラリア 野兎病 ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
正大病 コクシジオイデス症 サル痘 ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がプレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症候性出血熱 西部ウマ脳炎 ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 デング熱 東部ウマ脳炎 鳥インフルエンザ (H 5 N 1 及びH 7 N 9 を除く。) ニパウイルス感染症 日本紅斑熱 日本紅斑熱 日本紅斑熱 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症 しのアイルスであるものに限る。) ロロコードのでは、 (ロロコート) (ロコート)		
コクシジオイデス症 サル痘 ジカウイルス感染症 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ イルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 腎症候性出血熱 西部ウマ脳炎 グニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 ラング熱 東部ウマ脳炎 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) ニパウイルス感染症 日本紅斑熱 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 ワンデストライルス感染症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症 レジオネラ症 したアカイルスを変え ロロアン・ロースを受けることを受けることを使した。 ロロアン・ロースを使いた。 ロロアン・ロースを使いたいた。 ロロアン・ロースを使いた。 ロロアン・ロースを使いたいたが、ロースを使いたいた。 ロースを使いたいた。 ロースを使いたいたが、ロースを使いたいた。 ロースを使いたいたが、ロースを使いたいた。 ロースを使いたいたが、ロースを使いたいた。 ロースを使いたいたが、ロースを使いたいたが、ロースを使いたいた。 ロースを使いたいたが、ロースを使いたいた。 ロースを使いたいたが、ロースを使いたいたいたが、ロースを使いたいたいたいたいたいたいたいたが、ロースを使いたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいた		
ジカウイルス感染症 0 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 0 腎症候性出血熱 0 西部ウマ脳炎 0 炭疽 0 チクングニア熱 0 つつが虫病 52 デング熱 0 東部ウマ脳炎 0 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) 0 ニパウイルス感染症 0 日本紅斑熱 1 日本脳炎 0 ハンタウイルス肺症候群 0 身疽 0 ブルセラ症 0 ベネズエラウマ脳炎 0 ヘンドラウイルス感染症 0 発しんチフス 0 ボツリヌス症 0 マラリア 0 野兎病 0 ライム病 0 リッサウイルス感染症 0 リアドバレー熱 0 類鼻疽 0 レジオネラ症 28 レプトスピラ症 0		0
ジカウイルス感染症 0 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。) 0 腎症候性出血熱 0 西部ウマ脳炎 0 炭疽 0 チクングニア熱 0 つつが虫病 52 デング熱 0 東部ウマ脳炎 0 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) 0 ニパウイルス感染症 0 日本紅斑熱 1 日本脳炎 0 ハンタウイルス肺症候群 0 身疽 0 ブルセラ症 0 ベネズエラウマ脳炎 0 ヘンドラウイルス感染症 0 発しんチフス 0 ボツリヌス症 0 マラリア 0 野兎病 0 ライム病 0 リッサウイルス感染症 0 リアドバレー熱 0 類鼻疽 0 レジオネラ症 28 レプトスピラ症 0	コクシジオイデス症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) 腎症候性出血熱	サル痘	0
イルス属SFT Sウイルスであるものに限る。) 管症候性出血熱 西部ウマ脳炎 C グニ媒介脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C	ジカウイルス感染症	0
イルス属SFT Sウイルスであるものに限る。) 管症候性出血熱 西部ウマ脳炎 C グニ媒介脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C	重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウ	
腎症候性出血熱 C 西部ウマ脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リアドウイルス感染症 C リアドウイルス感染症 C リアドフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		0
西部ウマ脳炎 ヴニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 つつが虫病 デング熱 東部ウマ脳炎 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) ニパウイルス感染症 日本紅斑熱 日本脳炎 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 鼻疽 ブルセラ症 ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス ボツリヌス症 マラリア 野兎病 ライム病 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽 レジオネラ症 レジオネラ症 レブトスピラ症		0
ダニ媒介脳炎 C 炭疽 C チクングニア熱 C つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
炭疽 C チクングニア熱 C つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) C ニパウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リンサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
チクングニア熱 C フつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
つつが虫病 52 デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
デング熱 C 東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C 身疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C	11 — 111	52
東部ウマ脳炎 C 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		0
鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。) C 二パウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C	東部ウマ脳炎	0
ニパウイルス感染症 C 日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		0
日本紅斑熱 1 日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野死病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		0
日本脳炎 C ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
ハンタウイルス肺症候群 C Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 C レプトスピラ症 C		
Bウイルス病 C 鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		
鼻疽 C ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		
ブルセラ症 C ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		
ベネズエラウマ脳炎 C ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		
ヘンドラウイルス感染症 C 発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		0
発しんチフス C ボツリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C	ベネズエラウマ脳炎	0
ボッリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C	ヘンドラウイルス感染症	0
ボッリヌス症 C マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		0
マラリア C 野兎病 C ライム病 C リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		0
野兎病Cライム病Cリッサウイルス感染症Cリフトバレー熱C類鼻疽Cレジオネラ症28レプトスピラ症C		
ライム病Cリッサウイルス感染症Cリフトバレー熱C類鼻疽Cレジオネラ症28レプトスピラ症C		
リッサウイルス感染症 C リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		
リフトバレー熱 C 類鼻疽 C レジオネラ症 28 レプトスピラ症 C		
類鼻疽Cレジオネラ症28レプトスピラ症C		
レジオネラ症 レプトスピラ症 0		0
レジオネラ症 レプトスピラ症 0	類鼻疽	0
レプトスピラ症 C	レジオネラ症	28
		0
P		0
<u> </u>	-> 1 H44T-2TW	

5類感染症の一部(全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	9
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	0
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	25
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウ	3
マ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	5
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13
後天性免疫不全症候群	8
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	20
水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)	3
先天性風しん症候群	0
梅毒	115
播種性クリプトコックス症	1
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	26
風しん	
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	35	0.01
RSウイルス感染症	939	0.30
咽頭結膜熱	797	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2159	0.68
感染性胃腸炎	20947	6.65
水 痘	450	0.14
手足口病	3583	1.14
伝染性紅斑	36	0.01
突発性発しん	1030	0.33
ヘルパンギーナ	909	0.29
流行性耳下腺炎	91	0.03
急性出血性結膜炎	-	-
流行性角結膜炎	119	0.17
細菌性髄膜炎	10	0.02
無菌性髄膜炎	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	7	0.01
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	6	0.01

定点数4928インフルエンザ4928小児科3152眼科696基幹病院478

11月(月報)

性感染症·基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2491	2.53
性器ヘルペスウイルス感染症	819	0.83
尖圭コンジローマ	479	0.49
淋菌感染症	905	0.92
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1166	2.44
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	68	0.14
薬剤耐性緑膿菌感染症	15	0.03
定点数		
SID	983	

 STD
 983

 基幹病院
 477

 注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。